

第102回 発電用設備規格委員会 議事録

1. 日 時：2022年6月22日（水）10:00～16:50
2. 場 所：機械学会 第1・第2会議室及びWebEX システムによるハイブリッド開催
3. 出席者：委員28名（委員代理含む）、敬称略

【委員】

笠原委員長（東大）、高橋副委員長（理科大）、伊阪幹事（関西電力）、鈴木（中部電力）、波木井（東電）、木村（NIMS）、堂崎（東北大）、中澤（火原協）、酒井（横国大）、町田（TEPSYS）、浅山（JAEA）、大谷（MFBR）、平野（日立GE）、小山（日本製鋼所M&E）、渋鋳（IHI）、楠（日本原電）、爾見（発電技検）、中村（川崎重工）、三浦（電中研）、朝田（三菱重工）、山口（HSB ジャパン）、室伏（東芝ESS）、高柳（電機協会）、藤田（三菱重工、火専長）、松永（東芝ESS、原専長）、西井（電源開発、材専長）

【委員代理】

戸張（QST）：橋爪委員（東北大、核専長）代理

【欠席】

川畑（東大）

【アドバイザー】

なし

【常時参加者】

なし

【オブザーバ】

伊藤（IHI）、野村（CSエンジニアリング）、高屋（JAEA）、小口（三菱重工）、安藤（日立GE）、北条（三菱重工）、中村（大阪大）、白井（電中研）、清水（日立GE）、安田（関電）

【事務局】

花井、松岡、渡邊

4. 配布資料

102-0：第102回 発電用設備規格委員会議事次第案

102-1：第101回 発電用設備規格委員会議事録案

102-2-1：発電用設備規格委員会名簿案

102-2-2：各専門委員会名簿案

102-3-1-1：アルミバスケット材事例規格規格委書面投票No. 540 結果報告

102-3-1-2_規格委投票No. 540 コメント回答案

102-3-1-3-1-1：事例規格 本文_見え消し版_規格委LB540 コメント反映版

102-3-1-3-1-2 R1：事例規格 添付-1_見え消し版_規格委LB540 コメント反映版

102-3-1-3-1-3 R3：事例規格 添付-1（解説）見え消し版_規格委LB540 コメント反映版_J 積分式見直し

102-3-1-3-1-4：事例規格 添付-2_見え消し版_規格委LB540 版から修正なし

102-3-1-3-1-5：事例規格 添付-2（解説）見え消し版_規格委LB540 版からき裂修正

102-3-1-3-2-1：事例規格 本文_クリーンアップ版_規格委LB540 コメント反映版

102-3-1-3-2-2 R1：事例規格 添付-1_クリーンアップ版_規格委LB540 コメント反映版

102-3-1-3-2-3 R2：事例規格 添付-1（解説）_クリーンアップ版_規格委LB540 コメント反映版_3

102-3-1-3-2-4：事例規格 添付-2_クリーンアップ版_規格委LB540 版から修正なし

102-3-1-3-2-5：事例規格 添付-2（解説）クリーンアップ版_規格委LB540 版からき裂修正

102-3-2：規定番号等の使い分け案

102-4：第89回 発電用設備規格委員会幹事会議事メモ

102-5：投票結果

102-6：発電用設備規格に関する質問受付及び回答状況

102-7：火力専門委員会報告
102-8：原子力専門委員会報告
102-9：材料専門委員会報告
102-10：核融合専門委員会報告

102-11-1-1：第 67 回原子力関連学協会規格類協議会幹事会議事録（JSME 規格委幹事にて一部追記）
102-11-1-2：学協会規格の運用合理化に向けた電気事業者からの提案について
102-11-1-3：当面の協議会課題 draft0
102-11-1-4：原子力安全の向上に向けた学協会活動の強化
102-11-2-1：学協会標準ピアレビュー検討状況について r2
102-11-2-2：学協会規格類協議会学協会規格ピアレビュー計画書(案)R0
102-11-2-3：2021 年度ピアレビュー回答書 r2
102-11-4：ASME Code Week(2022/4) 概要報告
102-11-6：発電規格 2020 年版の発行及び電子配信の状況について

(102-12：欠番)

102-13-0：設計・建設分科会 審議案件
102-13-1-1-1：2022 Ed（その 3）改定提案_規委書面投票結果
102-13-1-1-2：合本_2022 Ed（その 3）改定提案_規委書面投票対応 R6
102-13-1-2-0：2022Ed_改定提案その 3_一覧表
102-13-1-2-1：DC19-10_合本_条・項・号の見直し・正誤表含む_R2a
102-13-1-2-2：DC16-28 解説図 GNR-1230-8 計装用ウェル_R1a
102-13-1-2-3：DC18-01_改定提案 JSIB8265 解説年版の変更 R6
102-13-1-2-4：DC18-31_0_用語パッキンの適正化_R0a
102-13-1-2-5：DC21-21_供用状態 A 及び B での許容応力 曲げ応力断面係数の向き_R2c
102-13-1-2-6：DC21-22_SSB 引用規格最新版反映_R4
102-13-1-2-7_DC21-26_2022Ed_事例規格集_R2a
102-13-1-3：2022 年 Ed_改定提案_公衆審査計画_R0
102-13-2：DC22-14_SSB-3220 許容荷重正誤表_R2
102-13-3-1-1:DC21-30_材料規格 2022(その 2) 影響評価 R2
102-13-3-1-2：DC22-10_材料規格 2022(その 3) 影響評価 R2
102-13-3-2-1：DC21-27_溶接規格 2022(その 2) 影響評価 R2
102-13-3-2-3：DC21-29_溶接規格 2022(その 3) 影響評価 R2
102-13-3-2-4：DC22-11_溶接規格 2022(その 4) 影響評価 R2

102-14-0：溶接規格分科会審議案件
102-14-1：溶接規格 2022 年版(案)公衆審査計画(案)
102-14-2：溶接規格事例規格集 2022 年版(案)書面提案
102-14-3-1：溶接規格 2022 年案改定(案)(その 2)規格委員会書面投票意見回答(案)
102-14-3-2：溶接規格 2022 年案改定(案)(その 3)規格委員会書面投票意見回答(案)
102-14-3-3：溶接規格 2022 年案改定(案)(その 4)規格委員会書面投票意見回答(案)
102-14-3-4：溶接規格 2022 年版改定(案)(その 2)(W21-11)規格委員会書面投票結果
102-14-4：溶接規格正誤表に対する NRA よりご指摘について

102-15-0：資料リスト
102-15-1：添付 E-10 2 パラメータ評価法改定
102-15-2：A 総則解説改定@102 回規格委_220622
102-15-3：FSR-19-04_推奨表記集の反映（補修章）

102-15-4 : BrFB・炉心そう廃止提案
102-15-5 : 極限荷重評価法への FEM 解析の適用
102-15-6 : 補修章の正誤表 (試験規定の引用先の修正)

102-16-1 : 規格委 LB No. 556 意見対応案 (推奨常温/高温引張試験方法)
102-16-2 : 材料規格 2012 年版技術評価時の要件への対応 (Su 値見直し)
102-16-3(1) : 材料規格 2020 年版に対する改定提案 (その 4) (2021JIS 改正対応)
102-16-3(2) : 2021 年 JIS 改正検討票
102-16-4(1) 正誤表_JIS H 3250 記号(V))
102-16-4(2) 正誤表発行提案書 (JIS H 3250 記号(V))

102-17 : 高温規格分科会審議案件リスト
102-17-1 : (ETD22-006) 発電用設備規格委員会書面投票 No. 558 No. 1 意見回答
102-17-2 : (ETD21-007) 規格委員会書面 No558-3 意見回答_等時応力ひずみ線図_規格委員会意見対応案
102-17-3 : (ETD21-008) 規格委員会書面 No558-4 意見回答_緩和クリープ損傷チャート

(102-18 欠番)

102-19 : P、B 配管減肉管理に関する技術規格 (2022 年版) 改定案_公衆審査計画
102-20 : All_R120220609MM
102-21-1-1 : 環境疲労評価手法 2022Ed 改定その 3_規委書面投票意見対応 R5
102-21-1-2 : 環境疲労評価手法_新設計疲労曲線追加改定_R11_規委
102-21-2 : 環境疲労評価手法 (2022 年版) 改定案_公衆審査計画

(102-22 欠番)

102-23-01-1 : SA ガイドライン改定提案表紙_第 102 回規格委提示 R0
102-23-01-2 : 規格委 LB547 意見対応リスト_20220622
102-23-02-1 : 規定比較_R3_規格委 LB547 コメント反映版
102-23-03-1 : BWR SCV 健全性評価ガイドライン改定案見え消し版_R5_規格委 LB547 コメント反映版
102-23-03-2 : PWR SCV 健全性評価ガイドライン改定案見え消し版_R4_規格委 LB547 コメント反映版
102-23-03-4 : BWR RCCV 健全性評価ガイドライン本文改定案反映見え消し版_R3_規格委 LB547 コメント反映版
102-23-04-1 : BWR SCV 健全性評価ガイドライン改定案クリーンアップ版_R5_規格委 LB547 コメント反映版
102-23-04-2 : PWR SCV 健全性評価ガイドライン改定案クリーンアップ版_R4_規格委 LB547 コメント反映版
102-23-04-3 : PWR PCCV 健全性評価ガイドライン改定案クリア版_R4_規格委 LB547 コメント反映版
102-23-04-4 : BWR RCCV 健全性評価ガイドライン本文改定案クリーン版_R3_規格委 LB547 コメント反映版
102-23-05 : SA 時構造評価ガイドライン改定案公衆審査計画
102-23-06 : 第 11 回分科会議事録_20211020

5. 議事内容

(1) 開 会

出席者を点呼し、定足数 (委員総数の 2/3 以上) を満足することを確認した。

(1-1) 議事次第 確認

(1-2) 前回議事録の確認【資料 102-1】

事務局より概要が説明され、承認された。

(2) 委員人事

(2-1, 2) 規格委員会及び専門委員会委員人事【102-2-1, 2-2】

規格委員会及び各専門委員会の委員人事案件について報告・審議が行われ、全会一致で承認された。内容は以下のとおり。

➤ 規格委委員会

[再任] 鈴木委員（中電）、中澤委員（火原協）、小山委員（日本製鋼所 M&E）、渋楯委員（IHI）、楠委員（原電）

[退任] —

[新任] —

➤ 火力専門委員会

[再任] 岡委員（富士電機）

[新任] 添木委員（大口自家発電）、三沢委員（電源開発）、関根委員（IHI カーボンソリューション）

[退任] 藤井委員、飯田浩道委員、小原委員

➤ 原子力専門委員会

[再任] 松永委員長（東芝 ESS）、山田副委員長（中部電力）、永田委員（日立 GE）、笠原委員（東大）、中村委員（川崎重工）、定廣委員（富士電機）、北村委員（関電）

[新任] —

[退任] —

➤ 材料専門委員会

[再任] 高橋英則委員（東芝 ESS）、波木井委員（東電）、古川（JAEA）

[退任] —

[新任] —

➤ 核融合専門委員会

[再任] 戸張（QST）

[新任] —

[退任] —

(3) 優先的に審議すべき事案またはトピックス

(3-1) 使用済燃料貯蔵施設規格 アルミ合金事例規格に関する審議：【資料 102-3-1】

（説明者：金属キャスク用アルミバスケット材料検討タスク（フェーズ2）波木井主査、永田タスク員）

規格委員会書面投票 No. 540、, 原子力専門委員会メール審議 No. 108 での意見対応を反映した事例規格案修正案について、書面投票の提案説明があり、審議が行われた。内容は、以下のとおり。

➤ 技術的変更伴う修正案について、以下のとおり説明が行われた。

＜付録 E＞, .

・ J 積分産出式の記載を削除し、参考文献に記載する方法に改めた。参考文献は複数とし、設計者が選択する余地を残している。

・ J 積分の評価対象はは最深点に限定していたが、表面を含めるように見直した。

＜付録 E 以外＞

・ 亀裂先端でのひずみ速度増加を考慮し、ひずみ速度が破壊靱性に与える影響に関する解説の記載を見直した

・ ASME Sec. III Div3 に基づいて設定した破壊靱性試験を免除する板厚の規定を削除した。

➤ 新語の結果、実施中の原子力専門委員会書面投票 N. 680 の可決を条件に規格委員会書面投票（1 次・再投票）を行うことが承認された。

➤ 規格委書面投票 No. 540 での反対意見が保留となっているため、投票での承認範囲は修正箇所に限定せず、事例規格案全体を対象とすることを確認した。

主な議論は以下のとおり。

- キャスクの構造や落下試験の荷重条件等の設計情報を含めてもらえると、設計を理解していな

い委員としても理解が深まるように思う。

- 今回、維持規格分科会のレビューでは、100 件に及ぶコメントがついた。分科会の横通しを行う投票システムがないことを理由とする見方もあるが、提案者の基本姿勢として、学会内有識者のレビューを前広に実施頂きたかったと感じる。

(3-2) 「規定番号」「規格番号」「条項 (番号)」の使い分けに関する提案 【資料 102-3-2】

原子力専門委員会 野村委員より、発電規格において番号を与えて定義している個々の規定を示す呼称を統一する提案について主旨説明が行われた。内容は以下のとおり。

- ・現状は、「規定番号」「規格番号」「条項 (番号)」の呼称が規格内、正誤表、質問受付にて混用されている。現状でも不具合はないが、原子力専門委員会としては順次「規定番号」に統一していく方針を固めたので、本日、規格委員会での説明を行った。
- ・提案内容を原子力専門委員会以外の各専門委員会にて持ち帰り、次回の規格委員会にて取り扱いを審議することとした。
- ・既に事務局では、質問受付の要領書及びHP 公開の書式に使用されている「条項」を「規定」に変更する準備を整えたが、変更の実施は、次回規格委員会での審議結果を受けて行う。

(4) 発電用設備規格に関する審議

(4-1) 発電用火力設備規格に関する審議：審議なし

(4-2) 発電用原子力設備規格に関する審議

原子力専門委員会松永委員長から概要を説明後、各分科会代表から個別に議案の説明及び審議が行われた。各規格の審議結果は以下のとおり。

(4-2-1) 発電用原子力設備規格 設計・建設規格：【資料 102-13】

(説明者：設計・建設分科会 朝田主査)

- 2022 年版改定提案その 3 投票意見対応：規格委員会委員会書面投票意見対応案について説明が行われ、全会一致で承認された。(資料 102-13-1-1, 2)
- 2022 年版改定案 公衆審査：改定提案その 1～その 3 の書面投票が可決・承認されたことを受け、公衆審査を行うことが提案され、全会一致で承認された。(資料 102-13-1-3)
 - ・審査対象：設計建設規格<第 1 編・軽水炉規格> 2022 年版及び事例規格集
 - ・実施期間：2022 年 7 月中旬より 1 か月間
- 正誤表の発行：2SSB-3220 「供用状態 A, B における許容荷重」に関する正誤表
 - ・対象：2020 年版 (2022 年版は改定案として審議済)
 - ・2020 年版に対する編集上の修正において、実荷重を指す「荷重」を条文タイトルに合わせて「許容荷重」に修正した誤記を、元の「荷重」に訂正する。
 - ・実施中の原子力専門委員会書面投票の可決を条件に、15 日間の書面投票を行うことが全会一致で承認された。
- 事例規格の発行：事例規格 NC-CC-02 「応力腐食割れの抑制に関する考慮」改定版の公衆審査が ご意見なしで終了したことを受け、事務局にて転載許可の申請等、出版に向けた作業に入ることが報告された。(資料 102-13-3)
- 材料規格及び溶接規格 2022 年版改定案による設計建設規格への影響評価 (報告)
材料規格、溶接規格の 2022 年版改定案に関して、規格委員会書面投票毎に設計建設規格への影響評価を行っている。ここまで、影響はない旨、報告された。

主な議論は以下のとおり。

- 「荷重」を「許容荷重」に修正した誤記は、なぜ気付かなかったのか？⇒多数の編集上の修正提案の一部であったため、見逃してしまった可能性が高い

(4-2-2) 発電用原子力設備規格 溶接規格：【資料 102-14】

(説明者：溶接分科会 小口幹事)

➤ 2022 年版改定提案に関する審議：

- ・前回の規格委員会後に実施された書面投票 No. 549, 550, 551 の参考意見への対応案及びこれに伴う編集上の修正について説明が行われ、挙手による採決にて承認された。(資料 102-14-3)
- ・事例規格集 2022 年版の改定案について提案説明が行なわれた。追加される事例規格はなく、表紙及び適用年版表の形式的な改定であることを確認し、挙手による採決にて承認された。なお、事例規格集表紙の裏に記載される解説文「事例規格とは」について、電子配信開始に伴う追補の廃止等の状況を反映した文案を、事務局にて発行までに作成することを確認した。(資料 102-14-2)
- ・本日の承認分を含め、以下の条件で公衆審査を行うことが承認された。(資料 102-14-1)

審査対象：溶接規格 2022 年版改定案及び事例規格集

実施期間：2022 年 7 月中旬より 1 か月間

➤ 正誤表に関する規制庁コメント対応について (報告)：資料 102-14-4

- ・規制庁より、規格本文と解説の改定タイミングがずれたことで不整合が生じた経緯について、意図した対応であったのか確認するコメントがあった。
- ・関係者で協議の上、本文と解説の審議のタイミングの関係で結果的に解説の改定が遅れた経緯を説明し、了解を得た。

主な議論は以下のとおり。

- 「解説の改定が遅れたことは意図したものではなかった」という主旨の回答と理解してよいか？⇒ そのとおりである。現在は、各規格共通のチェックシートに「本文と解説の不整合」に関する項目を設け、再発防止を図っている。

(4-2-3) 発電用原子力設備 維持規格に関する審議【資料 102-15】

(説明者：維持規格分科会 野村主査)

➤ 規格委員会書面投票意見対応案：以下の 4 件について意見対応案が説明され、承認された。

- ・添付 E-10 2 パラメータ評価法の改定：資料 102-15-1
- ・「A 総則」解説の改定：資料 102-15-2
- ・推奨表記集の反映 (補修章)：資料 102-15-3
- ・バレルフォーマボルト及び炉心そう個別検査・評価手法の改定：資料 102-15-4

➤ 新規提案：以下の 2 件について提案説明が行われ、書面投票を行うことが承認された。

- ・2022 年版改定案 極限荷重評価法への有限要素法解析の適用：資料 102-15-5
- ・補修章の正誤表 (試験規定の引用先の修正)：資料 102-15-6

(4-2-4) 発電用原子力設備 材料規格に関する審議：【資料 102-16】

(説明者：材料分科会 山田主査)

➤ 2022 年版改定提案その 3 「推奨常温・高温引張試験方法」材料規格への取り込み：規格委員会書面投票 No. 556 意見対応案及びこれに伴う編集上の修正について説明が行われ、承認された。(資料 102-16-1)

➤ 2022 年版改定提案その 3 「材料規格 2012 年版 技術評価における「適用にあたっての条件」への対応 (一部 Su 値の見直し) について提案説明が行われ、規格委員会書面投票を行うことが承認された。(資料 102-16-2)

➤ 2022 年版改定提案その 4 「2021 年 JIS 改正対応」について提案説明が行われ、規格委員会書面投票を行うことが承認された。(資料 102-16-3)

➤ 正誤表発行提案：JIS H325 記号 (V) に関する正誤表の提案説明が行われ、規格委員会書面投票を行うことが承認された。

- (4-2-5) 発電用原子力設備規格 設計・建設 第Ⅱ編 高速炉規格に関する審議【資料 102-17】
(説明者：高温規格分科会 高屋主査)
- 高速炉規格 2020 年版改定提案その 4 の審議：規格委員会投票 No. 558 で意見が出された下の 3 項目について意見対応案及びこれに伴う編集上の修正について説明が行われ、承認された。
 - ・ JIS 改正対応（編集上の修正を含む）：資料 102-17-2
 - ・ 316FR 鋼および改良 9Cr-1Mo 鋼のクリープひずみ式（50 万時間対応版改定案）に基づく等時応力-ひずみ曲線の改定（修正なし）：資料 102-17-3
 - ・ 316FR 鋼および改良 9Cr-1Mo 鋼のクリープひずみ式（50 万時間対応版改定案）に基づく緩和クリープ損傷係数 D^* および D^{**} の改定（編集上の修正を含む）：資料 102-17-4
- (4-2-6) 使用済燃料貯蔵施設規格に関する審議；審議なし【資料 102-18 欠番】
- (4-2-7) 配管減肉管理規格【資料 102-19】
(説明者：事務局)
- 事務局より、以下の 2 規格について公衆審査計画の提案があり、承認された。
 - ・ 加圧水型原子力発電所 配管減肉管理技術規格 2022 年版（7 月上旬より 1 か月）
 - ・ 沸騰水型原子力発電所 配管減肉管理技術規格 2022 年版（同上）
- (4-2-8) 配管耐震評価に関する事例規格に関する審議：【資料 102-20】
(説明者：森下タスク員)
- 事例規格案に対する書面投票意見対応案：規格委員会書面投票 No. 528 での意見対応案及びこれに伴う軽微な修正について説明が行われ、承認された。
 - 事例規格案の可決を受け、公衆審査計画が説明され、以下のとおり公衆審査を行うことが承認された。
 - ・ 規格名：NC-CC-008 弾塑性応答解析に基づく耐震 S クラス配管の耐震設計に関する代替規定
 - ・ 実施期間：2022 年 7 月末より 1 ケ月
 - ・ 備考：事例規格 単独で実施
- (4-2-9) 環境疲労評価に関する規格の審議【資料 102-21】
(説明者：疲労評価分科会 朝田委員)
- 環境疲労評価に関する規格 2022 年版改定案について審議が行われた。内容は以下のとおり。
- 規格委員会書面投票 No. 561 (2022 年版 改定提案その 3) での意見対応案及びこれに伴う編集上の修正について、承認された。
 - 改定提案その 1～その 3 で承認された規格案を対象に、以下の内容で公衆審査の実施計画が提案され、承認された。
 - ・ 規格名：JSME S NG1-2022 環境疲労評価手法に関する規格（2022 年版）
 - ・ 実施時期：2022 年 7 月中旬より 1 か月間
 - 公衆審査後のアクションとして英文版の改定を予定しているおり、どの様にレビュー、承認を受けらるべきか検討中である旨、報告があった。
- (4-2-10) 発電用原子力設備規格 コンクリート製格納容器規格に関する審議：審議なし【資料 102-22 欠番】
- (4-2-11) 発電用原子力設備規格 シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドラインに関する審議【資料 102-23】
(説明者：SA 対応分科会 永田主査)
- 規格委員会書面投票 No. 547 意見対応の審議：資料 102-23-1-2 にて規格案の編集上の修正を伴う意見対応案について説明が行われた。審議の結果、意見対応案が了解され、規格案の編集上の修正

を行うことが全会一致で承認された。

- 書面投票意見対応の終了を受け、以下の4種のシビアアクシデント時構造健全性評価ガイドライン改定案について、公衆審査を行うことが提案され、全会一致で承認された。

- ・ JSME S NX2-2022 BWR 鋼製格納容器編
- ・ JSME S NX3-2022 PWR プレストレスコンクリート製格納容器編
- ・ JSME S NX4-2022 PWR 鋼製格納容器編
- ・ JSME S NX5-2022 BWR 鉄筋コンクリート製格納容器編

(5) 発電用設備規格委員会活動状況報告

(5-1) 規格委員会幹事会報告【資料 102-4】

伊阪幹事より 5/19 に開催された第 91 回規格委員会幹事会の概要について説明が行われた。

(5-2) 書面投票結果【資料 102-5】

事務局より書面投票の実施状況について資料により報告された。

(5-3) 公衆審査報告【資料 102-6-1】

事務局より、設計・建設規格の事例規格「発電用原子力設備における「応力腐食割れ発生の抑制に対する考慮」(MC-CC-002 改定 2) 及び「関連事例規格集(2020 年 改定 1)」の公衆審査が意見なしで終了したことが報告され、これらの規格の制定が確認された。

(5-4) 質問受付回答状況【資料 102-6-2】

事務局より、質問の受付及び回答状況について資料にて報告された。【口頭説明は省略】

(5-5) 火力専門委員会報告【資料 102-7】

火力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 6/10 WEB 開催された第 100 回火力専門委員会の結果を中心に報告された。
- 次回 第 101 回火力専門委員会は 9 月 6 日に WEB 開催の予定。

(5-6) 原子力専門委員会報告【資料 102-8】

原子力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 6/8 に WEB 開催された第 110 回原子力専門委員会の結果を中心に報告。
- 次回 第 111 回原子力専門委員会は 9/8-9 の 2 日に分けてハイブリッド形式で開催予定。

(5-7) 材料専門委員会報告【資料 102-9】

材料専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 6/2 WEB 開催された第 54 回材料専門委員会の結果を中心に報告。
- 次回 第 55 回材料専門委員会は 9/16 に WEB 開催の予定。

(5-8) 核融合専門委員会報告【資料 102-10】

核融合専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 6/8 及び 6/15 に 開催された第 78 回核融合専門委員会の結果を中心に報告。
- 次回 第 79 回核融合専門委員会は 9/6, 15, 16 のいずれかに WEB 開催の予定。

(6) 委員会運営に関する報告／審議

(6-1) 原子力関連学協会規格類協議会の活動状況報告【資料 102-11-1】

伊阪幹事より規格類協議会の活動状況について報告された。内容は以下のとおり。

- 5/25 に幹事会、6/21 に協議会が開催された。
- 機会学会より、リスク情報活用に向けた取り組みとして 目標信頼性検討タスクの活動状況を報告した。

(6-2) ピアレビュー活動状況【資料 102-11-2】

伊阪幹事より、ピアレビューの活動状況について報告が行われた。内容は以下のとおり。

- ・ 2022 年度のピアレビュー実施計画が策定された。
- ・ 2021 年度ピアレビュー報告書で挙げられた要改善事項について対応方針が説明された。

(6-3) ASME Code 委員会に関する報告【資料 102-11-4】

原子力専門委員会 松永委員長より、4/25-5/5 に開催された ASME B&PV Code 委員会のうち、JSME 規格委員会の運営に関連が深いと考えられる次の委員会の概要が報告された。

- ・ SDO Code Convergence Board (4/25 開催) : 添付-1
- ・ ASME/JSME Joint TG Severe Accident (4/29 開催) : 添付-2
- ・ ASME/JSME Joint WG RIM Process and System Based Code (4/26 開催) : 添付-3
- ・ Seismic Design Steering Committee (4/24 開催) : 添付-4

(Plant Systems Design Committee はなし)

(6-4) 発電規格 2020 年版の出版状況及び電子配信に関する報告【資料 102-11-6】

事務局より、2020 年版の出版ならびに電子配信の状況について報告があった。内容は以下のとおり。

- 2020 年版について、1 月にまでに発行された溶接、材料について、設計建設（軽水炉）規格を 4 月に出版した。維持規格、高速炉規格は 7 月出版の予定。
- 2020 年版の電子配信について、出版済みの 3 規格について 6 月にサービスを開始した。維持規格、高速炉規格は出版と同時に電子配信のサービスを開始する。
- 電子配信の契約状況について、事業アドバイザー委員会からのフォローが継続している。未契約の法人については、引き続き加入をお願いしたい。

(7) 今後の予定

次回、次々回の発電用設備規格委員会の開催予定は以下のとおり。

- 第 103 回 発電用設備規格委員会 : 2022 年 9 月 22 日(木) 10 : 00~17 : 00
- 第 104 回 発電用設備規格委員会 : 2022 年 12 月 22 日(木) 10 : 00~17 : 00

以 上